

安里屋ユンタ Ver 1.1

本調子

中
工 七 合 四 七 合 七 七 五 工 四 上

中
工 合 工 合 五 工 四 合 四 上 合

中
上 合 工 合 乙 四 中 上 老 四 工

四
合 上 合 中 工 中 合 上 合 四 合

上
中 工 合 工 五 工 合 工 合 五 合

五
合 工 合 五 七 五 合 工 中 上 合

中
五 工 合 中 上 四 四 合 上 合

中
上 合 工 合 乙 四 中 上 老 四

一、サー君は野中のいばらの花か
サーユイユイ

暮れて帰ればやれほにひきとめる
マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
サーユイユイ

二人で気がねにやれほに水入らず
マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
サーユイユイ

主は白百合やれほにままならぬ
マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

四、サー染めて上げましょ紺地の小袖
サーユイユイ

掛けておくれよ情けのたすき
マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

五、サー沖縄よいとこ一度はめんそうれ
サーユイユイ

春夏秋冬緑の島よ
マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ